

# イノベーションを促進する「食料供給力」強化プロジェクト〔十勝連携地域〕

## 国家的・広域的な課題

- 就農者の高齢化や担い手不足が深刻化する中、北海道の持つ食料を生産する高いポテンシャルを活かすため、新技術の活用や経営形態の革新等のイノベーションを積極的に導入することが必要である。
- 「食」の高付加価値化・競争力強化を図るためには、農林水産物・食品の安全性向上やブランド化、産業界での連携や起業による新たな価値の創造など、生産・加工・流通の各段階での地域の主体的な取組を促進する必要がある。
- 十勝地域ではかんがい用水の確保及び農地の排水対策、十勝港に立地する道内最大級の飼料コンビナートの効果を活かした十勝の酪農振興や、輸出成功事例の「長いも」を始めとした東アジア等への農産物の輸出拡大などが求められている。
- 水産資源の回復、海域の生産力向上及び生産・出荷の安定化に向けて、水産環境整備と漁港水域を増養殖場として利用する漁港機能の集約化や有効活用等が必要である。

## プロジェクトの概要

- 新技術や新たな経営形態等のイノベーションの積極的な導入により、食料供給力や競争力を向上させ、構造改革に資する生産基盤の整備、施設整備及び長寿命化対策等を推進する。また、農水産物・食品の安全性向上やブランド化、新たな価値の創造などにより、生産物の付加価値向上を図り、輸出促進、グローバル市場獲得を推進する。

## 主な取組

### ○農水産物の供給力強化

- ・十勝農業の生産力の根幹をなす排水性の維持・向上及びかんがい施設の活用・保全のための農業水利施設等の計画的な更新整備
- ・流域治水プロジェクトの推進
- ・洪水から農地を守るための根幹的な治水施設としての堤防、河道及び砂防施設整備の推進
- ・農業の持続的発展に関するワーキングチーム取組
- ・水産物の安定的な供給を確保するための漁港の整備（地域マリビジョンの推進）
- ・十勝港に立地する飼料コンビナートに対応するための港湾や幹線道路ネットワークの整備

### ○安全・安心な食の供給

- ・安全で高品質な農産物の生産を可能にするための畑地かんがい、排水改良の実施
- ・安全で安心な水産物の安定的な供給を図る港湾・漁港の整備

### ○国際競争力の強化・輸出促進

- ・輸出戦略作物である「長いも」などの深根性作物の生育に対応した排水改良の実施
- ・物流拠点・生産拠点へのアクセス強化のための幹線道路ネットワークの整備
- ・道路の機能を保全するための適切な維持管理と交通安全対策の実施
- ・アジアの食と農林漁業の集積拠点形成に向けた「フードバレーとかち」の推進

## 地域をめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 「食」を中心とした関連産業等の展開により、多様な主体が輝く、魅力ある道東の拠点「十勝」

## 連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

### ■たくましく力強い農林水産業の展開

- 担い手の育成・確保及び定着と生産基盤の強化に向けた効果的な取組の促進
- 農水産物の加工や輸出など農林水産業における6次産業化の促進
  - ・生産性の高い土地基盤等に合わせたICTやロボットなどのスマート農業技術の導入促進
  - ・安定的な生産体制の創出に向けた海面養殖業の新たな取組の支援
  - ・適切な森林の整備や地域材の利用拡大による森林資源の循環利用
  - ・林業イノベーションによる更なる低コスト化・生産性向上

## 令和3年度の具体的な施策内容

### 【農業】

- 国営かんがい排水事業**  
（実施地区：上士幌北地区、富秋士幌川下流地区、芽室川西地区）
- 直轄明渠排水事業**  
（実施地区：新川二期地区）
- 国営施設応急対策事業**（実施地区：札内川地区）
- 【期待される効果】
  - ・地下水位の低下を図ることで長いもなどの深根性作物の導入が可能となる
  - ・主要作物（小麦、甜菜、馬鈴薯、豆類、牧草等）の安定生産が期待される
- 農業の持続的発展に関するワーキングチーム取組**

### 【漁港】

- 大津漁港の整備**（防波堤、岸壁、用地、用地（改良））
- 【期待される効果】安定的な水産物の出荷体制の確保

### 【港湾】

- 十勝港の国際物流ターミナル整備事業**  
（航路（水深13m）、航路（水深14m）、物揚場）
- 【期待される効果】輸送コスト削減による競争力強化に寄与

### 【治水】

- 十勝川等の堤防整備、河道掘削の推進**  
（帯広市街地近郊、統内地区、利別地区）
- 戸蔭別川砂防施設の整備**
- 【期待される効果】根幹的な治水施設整備を計画的に推進することで、自然災害による被害の防止・軽減を図る

### 【道路】

- 高規格道路の整備**
- ・北海道横断自動車道 足寄～北見
- ・帯広・広尾自動車道  
（忠類大樹IC～豊似IC（仮称））
- 【期待される効果】重要港湾十勝港、とかち帯広空港等への物流の効率化を支援

## 令和7年度（5年後）の目標

- 【農業】
  - ・国営かんがい排水事業（上士幌北地区、富秋士幌川下流地区）の完了、（芽室川西地区）の着実な推進
  - ・直轄明渠排水事業（新川二期地区）の着実な推進
  - ・国営施設応急対策事業（札内川地区）の完了
  - ・特定漁港漁場整備事業（大津地区）の着実な推進
- 【漁港】
  - ・十勝港国際物流ターミナル整備事業の着実な推進
- 【港湾】
  - ・十勝港国際物流ターミナル整備事業の着実な推進（航路暫定水深から計画水深への増深）

- 【治水】
  - ・十勝川の河道掘削を実施
  - ・利別川下流部の河道掘削を実施
  - ・急流河川（音更川、札内川）の堤防保護対策等と河岸浸食対策の着実な推進
  - ・戸蔭別川砂防施設整備の着実な推進
- 【道路】
  - ・北海道横断自動車道（足寄IC～陸別小利別）の着実な推進
  - ・帯広・広尾自動車道（忠類大樹IC～豊似IC（仮称））の着実な推進

# 人流・物流ネットワーク強化プロジェクト

〔十勝連携地域〕

## 国家的・広域的な課題

- 地域の経済発展を牽引し得る農林水産業・食関連産業、観光関連産業などの戦略的産業を成長の核とし、その地域特性に合った産業の振興と雇用機会の創出を図り、移輸出型産業と地域消費型産業とが、バランス良く成長していくことが必要である。
- 北海道の地理的・気候的条件を広い視野から「北の優位性」と捉え直し、戦略的な産業立地・振興につなげいくことが必要である。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、首都圏において地方移住への関心が高まっているこの機を捉え、北海道で働くことの魅力や優位性を発信する等、更なる企業立地・振興に向けた取組の促進が求められる。
- 人口減少・高齢化の進行による集落機能の低下、生活交通の確保、高齢者の生活支援等の課題が顕在化しつつある。北海道の強みである第1次産業を支え、観光資源を提供する生産空間の維持・発展を図るためには、地域の基幹産業の振興を通じた所得・雇用の確保、日常的な生活サービスへの交通アクセスの確保等による生活機能・集落機能の維持、及び定住・交流促進につながる地域の魅力向上の取組を三位一体で進める必要がある。
- 高規格道路を始めとする基幹的なネットワークは、農水産品・食料品の輸送や観光等に求められる広域的な人流・物流を支える交通体系を強化する観点から、生産地や観光地、消費地、空港・港湾等の交通拠点を結ぶ道路ネットワークの整備に求められるミッシングリンクの解消等を推進する必要がある。
- 道央圏や物流拠点である重要港湾十勝港までの移動距離が長いことから、物流効率化、交流人口の増大に資する物流・交通基盤の整備を進める必要がある。

## プロジェクトの概要

- 十勝地域は、広域分散型社会を形成しており、自動車交通に大きく依存しているため、産業・観光・生活を支える基盤としての高規格道路網の整備を進める。また、安全・安心で信頼性の高い道路ネットワークを維持するための計画的な道路管理を実施する。

## 主な取組

### ○交通・物流ネットワークの強化

- ・物流拠点・生産拠点へのアクセスを強化するための幹線道路ネットワークの整備
- ・高次医療機関へのアクセス強化など、緊急医療体制を支える幹線道路ネットワークの整備
- ・地域交通の利便性向上に関するワーキングチーム取組
- ・十勝港を拠点とした海上物流ネットワークの整備
- ・流域治水プロジェクトの推進
- ・幹線道路ネットワークや市街地の洪水に対する安全度向上のための根幹的な治水施設としての堤防、河道及び砂防施設整備の推進

### ○安全・安心で計画的な道路管理

- ・橋梁等の道路ストックの計画的な補修・更新による長寿命化の推進
- ・地方公共団体が管理する橋梁の保全に関する技術支援
- ・道路の機能を保全するための適切な維持管理と交通安全対策の実施

## 令和3年度の具体的な施策内容

### ○交通・物流ネットワークの強化

#### 【道路】

#### ●高規格道路の整備

- ・北海道横断自動車道 足寄～北見  
道東地域と道央地域を結び、地域の産業、経済、文化の発展等に不可欠な高速ネットワークを形成する路線

#### 【期待される効果】

- ・十勝圏域と北見圏域及び道央方面との近接化による市場圏の拡大
- ・観光ネットワーク形成及び日帰り圏の拡大による交流人口の増

#### ・帯広・広尾自動車道(忠類大樹IC～豊似IC(仮称))

- ・高速交通ネットワークの拡充による近隣主要都市間、重要港湾十勝港、帯広空港等への物流の効率化を支援し、地域の自立発展を支えることを目的とした路線

#### ※全線開通すると帯広～広尾間は一般道利用に比べ約46分短縮

#### 【期待される効果】

- ・とちか帯広空港と南十勝地域のアクセス強化
- ・十勝港を利用した物流の効率化
- ・南十勝地域から帯広への緊急搬送時の安全・確実性の確保

## 地域のめざす姿(令和7年の地域の将来像)

- 「食」を中心とした関連産業等の展開により、多様な主体が輝く、魅力ある道東の拠点「十勝」

## 連携地域の主な施策の方向(今後5年程度)

### ■創造性あふれる産業の推進

- ・産学官金や関連産業の連携による十勝製品のブランド力強化
- ・国内外での販路拡大に向けた取組の促進
- ものづくり産業など経済波及効果の高い企業立地や新事業創出の促進

### ■生命(いのち)と暮らしを守り、安全・安心にいきいき暮らせる地域社会の形成

- ・地域医療と保健・福祉の提供体制の確保・充実、少子化対策に向けた取組の促進
- ・高齢者・障がいのある方など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり、男女平等参画の取組の促進
- ・新たな感染症に対する医療提供体制の確保
- ・地震津波や感染症などの各種災害に備えた防災・減災体制の強化
- 災害に対応した設備の充実及び物資の備蓄
- ・地域防災意識向上に向けた取組の促進

### ■地域資源を活かした観光振興と交流推進

- 地域の生活と産業を支える交通ネットワークの確保及び充実

- 地域交通の利便性向上に関するワーキングチーム取組

#### 【港湾】

#### ●十勝港の国際物流ターミナル整備

- ・大型貨物船の入港を効率的にする港湾機能の強化(航路(水深13m)、航路(水深14m)、物揚場)

#### 【期待される効果】

- ・輸送コスト削減による競争力強化に寄与

#### 【治水】

#### ●十勝川等の堤防整備、河道掘削の推進

- (帯広市街地近郊、統内地区、利別地区)

#### ●戸蔭別川砂防施設の整備

#### 【期待される効果】

- ・根幹的な治水施設整備を計画的に推進することで、自然災害による被害の防止・軽減を図る

## 令和7年度(5年後)の目標

- 【道路】・北海道横断自動車道(足寄IC～陸別小利別)の着実な推進
- ・帯広・広尾自動車道(忠類大樹IC～豊似IC(仮称))の着実な推進
- ・予防保全型の道路管理、交通安全対策の着実な推進
- ・道路ストック長寿命化の着実な推進

- 【治水】・十勝川の河道掘削を実施
- ・利別川下流部の河道掘削を実施
- ・急流河川(音更川、札内川)の堤防保護対策と河岸侵食対策の着実な推進
- ・戸蔭別川砂防施設整備の着実な推進

- 【港湾】・十勝港国際物流ターミナルの着実な推進(航路暫定水深から計画水深への増深)

# 魅力ある観光地域プロジェクト

〔十勝連携地域〕

## 国家的・広域的な課題

- インフラや人材等の受入環境の整備、季節間の旅行需要の平準化、インバウンド観光による経済効果の地方部への波及などが課題。
- 各地域がそれぞれの地域資源を活かして「世界標準」の魅力ある観光地域づくりを進め、観光消費を一層拡大させ、それが地域内に循環する仕組みを構築するとともに、旅行者を北海道内各地域に分散・周遊させることが必要である。
- 国内外の感染症の状況を見極めつつ、国内旅行とインバウンドの両輪により、オール北海道で世界水準の観光地を目指す必要がある。
- 北海道7空港一括運営を活かし、関係者が連携した2次・3次交通の強化等による観光客の地方部への分散・周遊を支える受入環境の整備を推進する必要がある。

## プロジェクトの概要

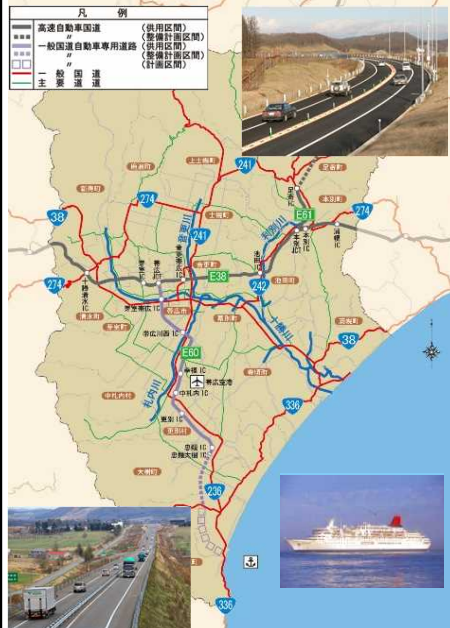
- 各地域が魅力ある観光地づくりを進め、旅行者を各地域に分散・周遊させるため、アクセスの強化、高速交通ネットワークの整備を推進する。また、広域的な観光周遊ルートの形成を促進し、特に「アジアの宝 悠久の自然美への道ひがし北・海・道」に基づく地域の取り組みを支援する。

## 主な取組

- 交通ネットワークの強化
  - ・観光拠点間のアクセス向上のための幹線道路ネットワークの整備
  - ・道路の機能を保全するための適切な維持管理と交通安全対策の実施
- 多様な主体の連携による観光振興
  - ・「わが村は美しくー北海道運動」、「ロングトレイル」、「シーニックバイウェイ」などの活動団体と連携した美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくりの促進
  - ・十勝港を活用したイベントや、大型クルーズ船（旅客船）寄港時の歓迎セレモニーの実施
  - ・札内川の川づくり活動団体（札内川懇談会）と連携・協働した望ましい川づくり、札内川という観光資源を活用した地域活性化の促進
  - ・かわまちづくり支援制度、かわたびほっかいどう、都市・地域再生等利用区域の指定等、河川空間を活用した地域の魅力向上に向けた取組
  - ・ナショナルサイクルルート「トカプチ400」の取り組みを通じた、新たな観光価値の創造と地域創生の促進
  - ・地域交通の利便性向上に関するワーキングチーム取組

## 令和3年度の具体的な施策内容

### ○ 交通ネットワークの強化



### ●高規格道路の整備

- ・北海道横断自動車道 足寄～北見
- ・帯広・広尾自動車道 (忠類大樹IC～豊似IC(仮称))

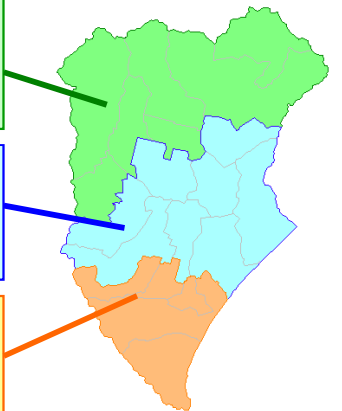
### 【期待される効果】

観光拠点間のアクセス向上のための幹線道路ネットワークの整備

### ○ 十勝シーニックバイウェイ

「十勝」の魅力向上と発信のため「食」と「癒し」を基本に個性溢れる3つのルートが連携。  
地域住民の発案の下、地域と行政が連携し、十勝の地域資源の保全・活用による「美しい景観づくり」「活力ある地域づくり」「魅力ある観光空間づくり」に取り組んでいる。

- 【指定ルート】
  - 十勝平野・山麓ルート  
豊かな森・眺望・アウトドア  
平成21年5月13日指定ルート登録
- 【指定ルート】
  - トカプチ雄大空間  
十勝人のルーツ・十勝のスイーツ  
平成22年5月17日指定ルート登録
- 【指定ルート】
  - 南十勝夢街道  
日高山脈・太平洋  
平成23年7月29日指定ルート登録



## 令和7年度（5年後）の目標

- 【治水】・札内川環境整備の着実な推進
  - ・かわまちづくりの推進（帯広地区、十勝川中流域地区）
- 【道路】・北海道横断自動車道（足寄IC～陸別小利別）の着実な推進
  - ・帯広・広尾自動車道（忠類大樹IC～豊似IC(仮称)）の着実な推進
  - ・予防保全型の道路管理、交通安全対策の着実な推進
  - ・道路ストック長寿命化の着実な推進

# 先導的な「環境・エネルギー」プロジェクト

〔十勝連携地域〕

## 国家的・広域的な課題

- 北海道の豊かな自然環境の保全、再生及び活用を図るとともに、生物多様性を確保することにより、恵まれた自然と共生する地域社会を形成し、次世代に引き継ぐことが重要である。
- 地域で循環可能な資源はなるべく地域で循環させる重層的な循環型の地域づくりの推進（地域循環圏の構築）等、循環型社会の形成に向けた取組を加速することが必要である。
- 持続可能な低炭素社会の実現に向けて、国内における温室効果ガスの排出削減対策や吸収源対策を積極的に推進するとともに、今後中長期的に避けられない気候変動の影響への適応策を進めることが不可欠である。
- 地球温暖化問題に対し、温室効果ガスの大幅な排出削減を図るため、省エネルギーやエネルギーの低炭素化を強気に推進することが必要である。
- 2050年カーボンニュートラル（ゼロカーボン北海道）、スマートシティの構築を目指し、再生可能エネルギー等の利用促進を図りつつ、強靱な地域分散型エネルギーシステムの構築に向けた取組等を総合的に進め、経済と環境の好循環と持続可能な地域社会の構築を図ることが必要である。
- 各地域に賦存する再生可能エネルギー源の有効活用、地域産業・雇用の創出を通じた地域経済の活性化、強靱化等の観点からも、水素等を活用しつつ、コスト面でもバランスのとれた地域分散型のエネルギーシステムを構築し、これをネットワーク化することが重要である。

## 地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 「食」を中心とした関連産業等の展開により、多様な主体が輝く、魅力ある道東の拠点「十勝」

## 連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 地球環境に配慮した地域の脱炭素化の推進と未来技術を活かした地域づくり
  - ・ゼロカーボン北海道の実現に向けた市町村のゼロカーボンシティ宣言等の促進
  - ・脱炭素型のライフスタイル・ビジネススタイルへの転換に向けた意識や行動の改革
  - ・3Rの取組による持続可能な資源利用の促進
  - ・地球温暖化防止や生物多様性に資する森林などの整備や自然環境の保全
  - バイオマス等を活用した再生可能エネルギーの普及促進
  - ・管内における更なる宇宙産業の促進

## プロジェクトの概要

- 美しい十勝を次世代に継承するため、自然環境に配慮した社会資本整備を推進する。また、持続可能な社会を構築するため、省エネルギーや地域資源利活用の取組を進める。

## 主な取組

- 自然共生社会の形成
  - ・多様な生物の生息・生育環境の再生を目的とした礫河原再生の取組の推進
  - ・水路の自然護岸化、魚道の設置など生物の移動経路を確保した農業用排水施設の整備
  - ・野生動物の移動経路を確保した道路の整備
- 低炭素社会の形成
  - ・CO<sub>2</sub>排出量の削減
  - ・農業用排水施設における小水力発電の推進
- 循環型社会の形成
  - ・建設工事から発生する土砂を地域内で有効活用するための土砂バンクの推進
  - ・河川堤防の除草により発生する刈草を地域内で有効活用するための刈草バンクの推進

## 令和3年度の具体的な施策内容

### 【治水】

- 礫河原再生に向けた川づくり(札内川)
  - ・試験区における流路の一部掘削、既設ダムを利用した試験及びモニタリングの実施
- 【期待される効果】
  - ・札内川特有の河川環境である礫河原の再生
- 自治体と連携した伐採木等の有効活用
  - ・公共工事で発生した伐採木を自治体と連携しバイオマス燃料等として活用
  - ・十勝川の流木を授産施設の工芸品等の材料として活用

### 【農業】

- 国営かんがい排水事業（実施地区：上士幌北地区、富秋士幌川下流地区、芽室川西地区）
  - 【期待される効果】
    - ・環境配慮型工法による生物の生息・生育環境の保全

### 【道路】

- 高規格道路の整備
  - ・北海道横断自動車道 足寄～北見
  - ・帯広・広尾自動車道（忠類大樹IC～豊似IC（仮称））
- 【期待される効果】
  - ・走行性の高い道路整備による燃費向上に伴うCO<sub>2</sub>排出削減
  - ・コウモリ等の野生動物の移動経路の分断・孤立化に配慮した道路整備
- 道路照明へのLEDの電球導入
  - ・道路照明LED更新
- 一般国道241号音更大通事故対策

## 令和7年度（5年後）の目標

- 【治水】
  - ・礫河原再生に向けた川づくりによる河川環境の回復（札内川）
- 【農業】
  - ・国営かんがい排水事業（上士幌北地区、富秋士幌川下流地区）の完了、（芽室川西地区）の着実な推進
  - ・農業用排水施設における小水力発電の普及

- 【道路】
  - ・北海道横断自動車道（足寄IC～陸別小利別）の着実な推進
  - ・帯広・広尾自動車道（忠類大樹IC～豊似IC（仮称））の着実な推進
  - ・道路照明へのLED電球の導入による消費電力の削減（直轄国道）
- 【共通】
  - ・土砂バンク・刈草バンクによる地域内資源有効活用の推進

# 強靱な社会基盤形成プロジェクト

〔十勝連携地域〕

## 国家的・広域的な課題

- 人口減少・高齢化の進行による集落機能の低下、生活交通の確保、高齢者の生活支援等の課題が顕在化しつつある。北海道の強みである第1次産業を支え、観光資源を提供する生産空間の維持・発展を図るためには、地域の基幹産業の振興を通じた所得・雇用の確保、日常的な生活サービスへの交通アクセスの確保等による生活機能・集落機能の維持、及び定住・交流促進につながる地域の魅力向上の取組を三位一体で進める必要がある。
- 気候変動による風水害、土砂災害の激甚化や冬期災害の発生、さらに地震・津波、火山噴火等の被害も懸念される等、多様化する災害リスクに対応するため、関係機関と連携し、ハード対策とソフト対策を効果的に組み合わせた効率的な防災・減災対策を進め、国土の強靱化を推進し、災害に強くしなやかな国土を構築する必要がある。
- 河川、下水道の管理者等が主体となって行う対策に加え、あらゆる関係者が流域全体で取り組む「流域治水」を推進する必要がある。
- 事後保全から予防保全へ本格転換するとともに、新技術の活用による点検の高度化・効率化等により、戦略的なインフラ老朽化対策を推進する必要がある。

## 主な取組

- 地震・津波対策
  - ・橋梁や河川管理施設の耐震対策の実施
  - ・河川管理施設の津波対策の実施
  - ・漁港における地震・津波被害の軽減に資する施設の整備
- 防災・減災対策
  - ・流域治水プロジェクトの推進
  - ・洪水から市街地や農地を守るための根幹的な治水施設としての堤防整備、河道整備、急流河川対策及び砂防施設整備の推進
  - ・安全・円滑で確実な道路交通確保のための土石流対策、斜面对策、雪崩対策等の道路防災事業の実施
  - ・高波から港湾・漁港関連施設の安全を確保する施設の整備
- 地域防災力の向上
  - ・道路情報板、河川情報板、道の駅での電光掲示板付き自動販売機等を活用した災害情報の迅速な提供
  - ・災害発生時におけるライフラインの確保、救助、復旧作業を速やかに実施するための防災資機材整備
  - ・洪水時の地域における水防活動を支援するための拠点整備
  - ・迅速かつ円滑な災害対応に向けた防災関係機関の連携強化
  - ・市町村のハザードマップの作成への支援や、地域住民も参加した防災訓練等による防災意識の向上
  - ・大規模土砂災害に対応した、調査体制の構築及び防災関係機関との連携強化

## 地域のめざす姿（令和7年の地域の将来像）

- 「食」を中心とした関連産業等の展開により、多様な主体が輝く、魅力ある道東の拠点「十勝」

## 連携地域の主な施策の方向（今後5年程度）

- 生命（いのち）と暮らしを守り、安全・安心にいきいき暮らせる地域社会の形成
  - ・地域医療と保健・福祉の提供体制の確保・充実、少子化対策に向けた取組の促進
  - ・高齢者・障がいのある方など誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくり、男女平等参画の取組の促進
  - ・新たな感染症に対する医療提供体制の確保
  - 地震津波や感染症などの各種災害に備えた防災・減災体制の強化
  - ・災害に対応した設備の充実及び物資の備蓄
  - 地域防災意識向上に向けた取組の促進

## プロジェクトの概要

- 安全・安心の確保は、国民生活や経済社会の安定を図るための前提条件である。このため、関係者による災害発生時に備えた連携体制の整備を推進し、気候変動による風水害、土砂災害、冬期災害リスクへの対応、地震・津波対策及び防災・減災対策を推進する。
- 平成28年8月に台風が相次いで北海道に上陸・接近し、十勝地方の河川、道路、農業用施設等に甚大な被害がもたらされた。今後も気候変動により、災害がさらに頻発、激甚化することが懸念されており、多様な主体との連携により、ハード対策とソフト対策を効果的に組み合わせて効率的な防災・減災対策を推進する。

## 令和3年度の具体的な施策内容

- 防災・減災対策
  - 【道路】
    - 一般国道236号野塚防災
      - 【期待される効果】
      - 雪崩等による危険箇所を解消を図り、道路の安全な通行を確保する
    - 一般国道38号外 橋梁補修・耐震補強
  - 【漁港】
    - 大津漁港の整備
      - （防波堤、岸壁、用地、用地（改良））
      - 【期待される効果】
      - 高波や津波による冠水被害、施設及び漁船等への被害軽減
- 【治水】
  - 十勝川等の堤防整備、河道掘削、堤防天端の保護
    - 堤防整備：十勝川、札内川、音更川
    - 河道掘削：十勝川、札内川、音更川、利別川
    - 天端保護：十勝川、札内川、音更川、利別川、途別川、浦幌川、浦幌十勝川
  - 戸鶯別川砂防施設整備の推進
    - 戸鶯別川砂防堰堤の整備
    - 【期待される効果】
    - 根幹的な治水施設整備を計画的に推進することで、自然災害による被害の防止・軽減を図る

## 令和7年度（5年後）の目標

- 【治水】
  - ・十勝川中流部、十勝川下流部、利別川下流部の河道掘削及び堤防整備による治水安全度の向上
  - ・急流河川（音更川、札内川）の堤防保護対策と河岸侵食対策の着実な推進
  - ・戸鶯別川砂防施設整備の着実な推進
- 【漁港】
  - ・漁船保管施設用地の改良（嵩上げ）による津波被害の軽減。
  - ・防波堤改良による港内静穏度の向上。
  - ・地震時における水産業の早期再開を目的とした岸壁及び道路の改良（耐震性能強化等）の着実な推進
- 【道路】
  - ・一般国道38号等幹線道路の橋梁耐震補強の着実な推進
  - ・道路防災事業の着実な推進